

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡

（注）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、百貨店販売で新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少したことから前年を下回っているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、自動車向けを中心に緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡
生産活動	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
設備投資	2年度は増加見込み	2年度は減少見込み	↘
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
輸出	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーでは引き続き巣ごもり消費により食料品が好調であるものの、百貨店では新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少したことから、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えや在宅勤務で来店客数が減少したことから前年を下回っている。乗用車新車登録・届出台数は、小型車が前年を下回っているものの、普通車、軽自動車の前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。ドラッグストア販売額は、衛生関連商品や食料品等が引き続き好調であるものの、昨年の巣ごもり消費等の反動から前年を下回っている。家電大型専門店販売額は、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活用品等が好調なことなどから、前年を上回っている。旅行取扱高（九州全体）は、前年を下回っている。このように、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

（主なヒアリング結果）

- 1月は感染症の影響により来店客数が減少し苦戦したが、2月以降は感染者数の減少に伴い来店客数が回復傾向となり、売上も徐々に増加した。4月に入り、全国の感染者数の増加の影響で来店客数が少し減っている様子であり、今後の感染状況により先行きが不透明である。（百貨店、大企業）
- 引き続きテレワークの増加や巣ごもり消費の影響により、売上は好調である。また、感染予防のため高性能の空気清浄機や加湿器の好調が続いている。（家電大型専門店、中堅企業）
- 引き続き感染症の影響で、マスクやハンドソープなどの生活用品や在宅勤務需要でデスク・チェアなどの好調が続いている。また、気温の上昇により園芸用品や木材などの屋外関連商品が好調であった。（ホームセンター、大企業）

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

輸送機械の自動車は、海外向けを中心に緩やかに持ち直している。鉄鋼は、自動車産業の回復によって、緩やかに持ち直している。電子部品・デバイスは、車載向けを中心に回復の動きがみられる。造船は、受注残は減少傾向にあるものの、一定の操業を維持している。このように、生産活動は緩やかに持ち直している。

- 1-3月期はアジアや北米の販売回復を受けて高い水準の稼働が続いているが、2月に一部の部品供給が滞ったため、生産調整を実施している。4月以降も稼働率の高い状況が続く計画となっているものの、供給がひっ迫している半導体部品の不足が懸念される。（輸送機械、大企業）
- 自動車産業の回復によって、鋼材の受注が増加し、例年ベースの生産水準に戻っている。4月以降も増産の計画を見込んでおり、回復基調は継続する見込み。（鉄鋼、大企業）
- 自動車メーカーの生産回復によって、自動車用部品の需要が高まっていることや情報通信機器関連（タブレット、スマホ）の半導体が好調となっている。（情報通信機械器具、大企業）

■ 雇用情勢 「一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

建設業等で求人数が増加したことなどから、有効求人倍率は足下げ止まっており底堅さがみられるものの、新規求人数及び新規求職者数は前年を下回っており、雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きとなっている。

- 競合他社よりも時給を高く設定し、有給休暇の取得促進など福利厚生面もアピールして人材確保に努めている。（小売、大企業）
- 従業員の休業措置を継続しており雇用調整助成金を受給している。（宿泊、中堅企業）
- 飲食店に対する営業時間短縮要請の解除後は、レストランや食料品製造業の求人も少しずつ戻りつつある状況。（労働局）

■ **設備投資 「2年度は減少見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、「その他の輸送用機械器具」等で減少見込みとなっているものの、「電気機械器具」、「自動車・同附属品」等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、「電気・ガス・水道」等で増加見込みとなっているものの、「運輸、郵便」、「卸売」等で減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。

➢ 今年度は、研究・生産施設の建設を行っているため、増加見込みとなっている。（電気機械器具、大企業）

➢ 安全上必要な投資は引き続き実施するが、成長に向けた投資は一部見直し、先送りを行っているため、今年度は減少見込みとなっている。（運輸、郵便、大企業）

■ **企業収益 「2年度は減益見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、「その他の輸送用機械器具」等で増益見込みとなっているものの、「非鉄金属」、「自動車・同附属品」等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、「小売」等で増益見込みとなっているものの、「運輸、郵便」、「宿泊、飲食サービス」等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **住宅建設 「前年を下回っている」**

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅が増加しているものの、持家、貸家及び給与住宅が減少していることから前年を下回っている。

■ **輸出 「前年を上回っている」**

- 輸出（円ベース）は、前年を上回っている。なお、輸入（円ベース）は、前年を上回っている。

（その他項目）

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査（3年1-3月期）の景況判断BSIでみると、3年1-3月期は、「下降」超に転じている。先行きについては、3年4-6月期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。

3. 各県の総括判断

	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
福岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、百貨店販売で新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少したことから前年を下回っているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、自動車向けを中心に緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
佐賀県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額は前年を下回っており、新型コロナウイルス感染症の影響により足下では来店客数が減少しているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている。
長崎県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、各種催事や県民向け宿泊割引キャンペーン等の効果により、来店客や宿泊客が戻りつつあるなど、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスの受注・生産高が増加しているなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。